

平成24年11月19日

杉並区議会議長

井口 かづ子 様

道路交通対策特別委員会

委員長 小川 宗次郎

道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成24年9月19日 報告聴取

2 活動経過

以下のとおり4件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

(1) 放射第5号線について

都は、9月9日に環境施設帯（自転車歩行者道、植樹帯、副道等）の計画策定に向け、沿道の土地・建物所有者を対象に「環境施設帯の話し合い（第2回）」を開催したとのこと。今回の話し合いは、放射第5号線の沿道をブロック分けし、ブロックごとに自由に意見や要望を述べてもらう形式で開催されたとのこと。参加者からは「高木の植樹は、落ち葉、日照の問題、せん定管理などを考慮してほしい」「将来の土地利用や防災、緊急車両の通行を考えると副道を設置してほしい」「私道を放射第5号線に接続すると、通過交通の進入が心配」などの意見がだされたとのこと。また、第1回話し合いでは原則車両の出入りができないとされていた交差道路の接続について、その後、原則として接続させると方針が変更となった旨の説明がされたとのこと。これは災害時や緊急時の地域の居住者の安全のため、また通行上の利便性などを考慮し、2方向に通り返けができるようにするための変更とのこと。通過交通の流入を懸念する声に対しては、通過交通が流入しにくい出入り構造とする方針が立てられているとのこと。

(2) 東京外かく環状道路について

4月より、国土交通省とともに事業主体となっている「東日本高速道路株式会社」及び「中日本高速道路株式会社」は、道路舗装や施設工事が主な事業内容となっており、「中日本高速道路株式会社」については、東名ジャンクション付近の用地買収などの取り組みも行うとのこと。

9月5日に開催された着工式は、国会議員、都議会議員、沿線区市、地元代表者等が招待され、約180名の来場があったとのこと。

9月14日付で、東名ジャンクションの本線シールドトンネル立坑工事について、中日本高速道路株式会社と清水建設株式会社、株式会社熊谷組の共同企業体との間で契約が締結されたとのこと。契約金額は70億6,200万円で、工期は平成24年9月15日から平成26年6月4日までとのこと。

9月19日には、松庵小学校において、外環の事業概要等について、沿線住民に個別に情報提供や説明を行うオープンハウスが開催されたとのこと。

(3) エイトライナー促進協議会の活動について

7月26日にエイトライナー促進協議会第19回総会が、杉並区が開催区となり、セッション杉並で開催されたとのこと。総会では平成23年度歳入・歳出決算報告を含む4件の議案と平成23年度「区部周辺部環状公共交通に係る調査」の調査報告がされ、議案についてはすべて原案のとおり了承されたとのこと。

(4) 第29回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施について

放置自転車のない安全で快適なまちをつくることを目的に、10月22日から31日のうちの7日間実施する予定とのこと。これまで放置防止の啓発等に取り組んできた結果、通勤通学に利用されている自転車の放置は大幅に減少したが、夕方にかけての買い物客による放置自転車が目立つようになったため、買い物客への啓発に重点を置き、夕方を中心に実施するとのこと。キャンペーンには、区内3警察、交通安全協会、商店会、町会、自治会、放置防止協力員、鉄道事業者、バス事業者、各駅周辺の小中学校なども参加予定とのこと。

以上